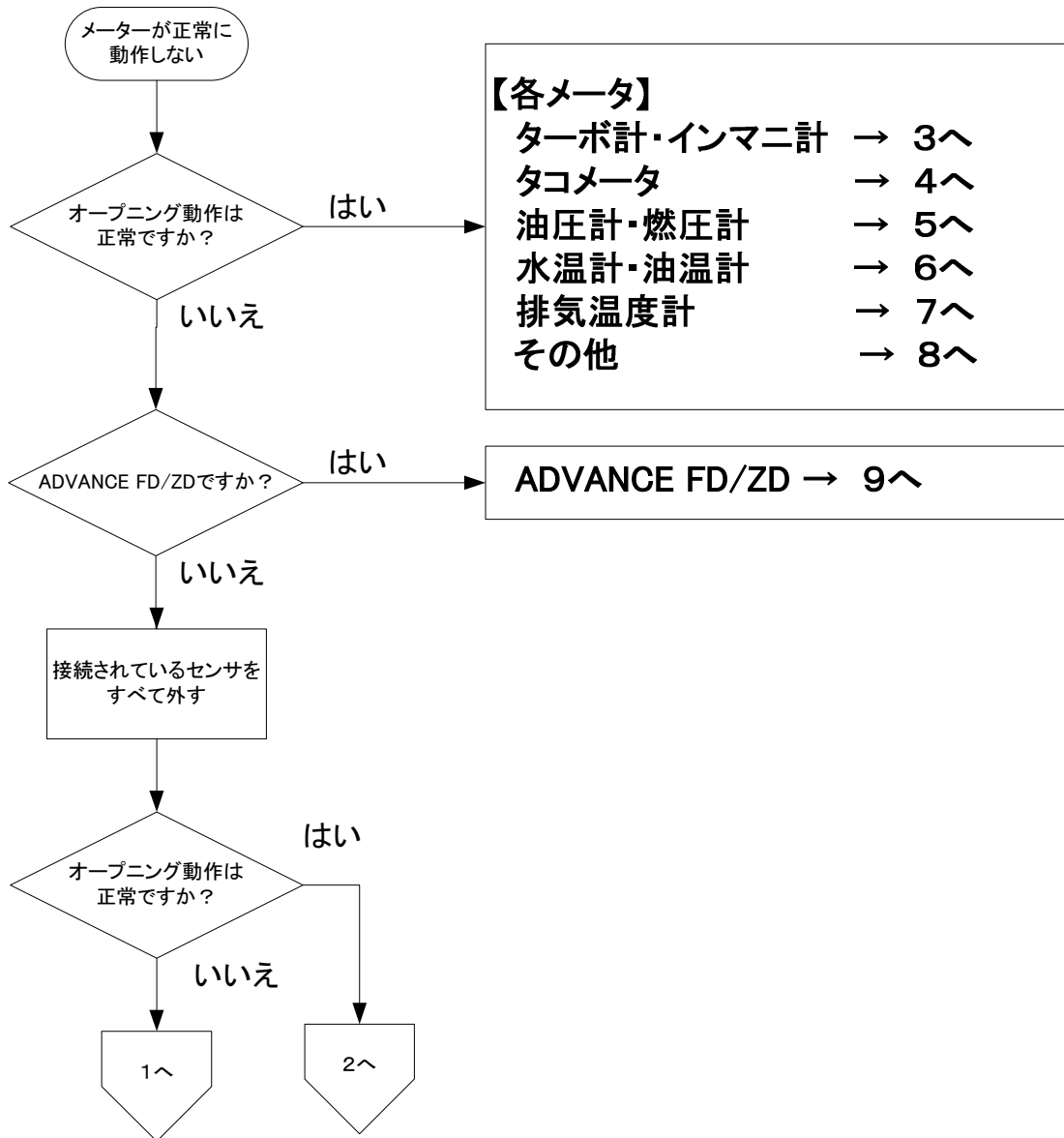


Defi-Link Meter  
ADVANCE A1/CR/BF/RS  
RacerGauge



		考えられる原因		対応方法
共通1	1	1-1	配線の間違い	IGNと常時電源線をバッテリーのプラス端子に接続し、GND線をバッテリーのマイナス端子に接続してバッテリーで直接動作させてみてください。動作しなければ販売店様経由で当社に検査修理依頼を行ってください。
		1-2	メーターハーネスが断線またはショート	ハーネスを交換してしてください。
		1-3	バッテリー異常	IGN線および常時電源に入ってきている電圧が10V以下であるか確認してください。バッテリーを交換してください。
		1-4	[初期Defi-Linkシリーズの場合] メーター内部コネクタの接触不良	オープニングでLEDは他のメーターと同じ点灯点滅を行っているのに、針の動きだけがおかしい場合は、メーター本体・コントロールユニットが故障している可能性があるため、販売店様経由で当社に検査修理依頼を行ってください。
		1-5	その他の異常	メーター本体・コントロールユニットが故障している可能性があるため、販売店様経由で当社に検査修理依頼を行ってください。
共通2	2	2-1	外したセンサの故障	外したセンサーを一つずつ接続してオープニング動作を試してください。
ターボ・インマニ計	3	3-1	センサーが故障	<b>[IGN ONでエンジンをかけない時に0kPaを指示していない]</b> Defi販売店様から検査・修理依頼をしてください
		3-2	その他	アイドリング時などに針が安定せずに触れる。軽自動車やリッターカーなどサージタンクの体積が小さい車両の場合は、正常です。サージタンクの容積を増やすなどの案があります。
タコメータ	4	4-1	気筒数設定が間違っている	説明書の気筒数設定を参照し、ご確認お願いします
		4-2	車速/エンジン回転信号線の接続間違い	車速/エンジン回転信号ハーネスのコネクタ側はコントロールユニットに差し込んで使用していますか？車速/エンジン回転信号ハーネスを間違えてメーターハーネス用コネクタに接続すると、ADVANCEコントロールユニットが故障し、動作しなくなります。
油圧計・燃圧計	5	5-1	センサーの故障	<b>[油圧と燃圧の両方を使用]</b> コントロールユニットのコネクタ部で、油圧と燃圧を差し替えてみて、動作を確認してください。油圧センサーが故障している場合、センサーを差し替えると同じ症状が燃圧計で表示されます。
		5-2	センサーの故障	<b>[サービスホールを使用して油圧センサーを取り付けている場合]</b> オイルポンプの高圧な脈動でダメージを受けて故障する場合があります。高圧な脈動によってダメージを受ける場合の対策として、ステンレスメッシュホースなどで延長して取り付けることをお勧めします。
		5-3	センサーハーネスの接触不良	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が錆びていないかも確認してください。端子が錆びていると、接触不良となり正常に表示されません。

		5-4	センサの取付け不良	<b>[油圧プレッシャースイッチ部を分岐するアダプタを使用している場合]</b> アダプタには温度センサーを取付けないでください。オイルの流動部にセンサ受感部が入らないため、温度が低く表示されます。
水温計・油温計	6	6-1	センサーの故障	油温と水温の両方を使用しているのであれば、コントロールユニットのコネクタ部で、油温と水温を差し替えてみて、動作を確認してください。例えば油温計油温センサーが故障している場合に、水温と油温でセンサーを入れ替えると、同じ症状が水温計で表示されます。油温センサーまたは油温ハーネスの故障が考えられます。
		6-2	センサーハーネスの故障	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が錆びていないかも確認してください。端子が錆びていると接触不良となり、正常に表示されない場合があります。
		6-3	センサーの変形	センサーが正常に動作しない場合、センサーをアタッチメントに取り付ける場合に先端がアタッチメントと干渉して取り付けられていると、先端が変形して内部のサーミスタが正常に動作しなくなります。正常品のセンサーと目視で見比べると変形しているかどうかわかります。サンドイッチブロックの横側についている油圧用の穴に、油温センサーを取り付けた場合に発生しやすい症状です。
		6-4	水温センサの取付け不良	ラジエータ液にセンサが接触していない場合、水温計の指示値が異常の場合があります。センサーアタッチメントを下または横向きに取り付けてください。
		6-5	その他	水温センサーをラジエーターのアップパーホースに取り付けた場合、エンジン始動後5～10分経過すると急激に70～80度まで上がる症状がありますが、正常動作です。この症状はエンジン内部のクーラントが暖まり、サーモスタットが開いたときにクーラントの循環が始まるために起こる症状です。
排気温度計	7	7-1	センサーハーネスの接触不良	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が錆びていないかも確認してください。端子が錆びていると、接触不良となり正常に表示されません。
		7-2	センサーの故障	排気温度センサーに水が浸入して一時的に指示がおかしくなる場合があります、侵入した水分が蒸発すると元に戻るときもあります。ただし、侵入した水分が急激に蒸発するとセンサーの先端が膨らんで変形し、完全に故障することもあります。
その他	8	8-1	ILM線の接続不良	イルミコントロール機能付き(ボリュームでセンターコンソールの照明の明るさを調整できる)の車両に取り付けた場合、文字板照明がちかちかする症状がある。ILM入力線(白色線)はスモールONで12Vの線に接続する必要がある。ちかちかしているときは、12Vになっていないはずなので、ためしに白線をIGNや常時電源に接続してちかちかする症状が出るか確認してください。
ADVANCE FD/ZD	9	9-1	車速/エンジン回転信号線の接続間違い	車速/エンジン回転信号ハーネスのコネクタ側はコントロールユニットに差して使用していますか？車速/エンジン回転信号ハーネスを間違えてメーターハーネス用コネクタに接続すると、ADVANCEコントロールユニットが故障し、動作しなくなります。